

# IDEA特殊教育 調停

青少年（3～21歳）の保護者向けガイド

この刊行物は、個別障害者教育法（IDEA (Individuals with Disabilities Education Act)）紛争解決オプションに関するシリーズの一部です。このシリーズの保護者向けガイドには下記が記載されています。

IDEA特殊教育調停  
IDEA特殊教育州不服申立書 IDEA特殊教育デュープロセス  
不服申立て/ヒアリング要求  
IDEA特殊教育解決ミーティング



この刊行物は、概してIDEAのパートBに対する調停について説明します。連邦法または州法の手続き上の保護手段または必要事項を解釈する、変更する、または差し替えることを意図していません。

## 調停とは？

調停とは、意見の不一致を解決するために人々を集める自発的なプロセスのことです。全員が懸念を表明し解決策を提供する機会を持てるように、調停者は参加者が互いにコミュニケーションを取れるよう支援します。

- 調停を行うには、親と教育者の両方が参加に合意する必要があります。
- 参加者は、いつでも調停から離れることができます。
- 調停での話し合いは機密です。調停での発言は、デュープロセス・ヒアリングまたは民事訴訟で証拠として利用できません。
- 調停者は決定を行いません。保護者と学区の両方が、決定に同意する必要があります。
- 意見の不一致を解決し、すべての参加者を満足させる解決に向けて努力することが中心となります。
- 保護者と教育者は意見の不一致を解決するため、いつでも調停を利用できます。
- お子さんの教育ニーズを満たす解決策を見つけるのが目標です。

## 調停の利点

- 調停は、全員が異なる視点をより理解するために役立ちます。
- お子さんを知らない誰かが決定するのではなく、参加者が解決策と一緒に取り組み、成果を管理します。
- 参加者は一緒に作成した調停の合意条件に、より満足し従う傾向があります。
- 他の紛争解決オプションを利用した場合より迅速に、意見の不一致を解決できます。
- 調停は、将来の計画の作成を中心とします。

## 調停に関する注意点

- 調停は時に、感情的で疲れる、いらだたしいプロセスになる場合があります。
- 保護者と教育者は調停セッションの前に、時間を取って準備をしないと、不利益を感じる場合があります。
- 複雑な状況では、詳しい合意を作成するのに、複数の調停セッションが必要になる場合があります。
- 調停が書面による合意に至る保証はありません。

### 効果的な調停テクニックのトレーニングを受けた調停者は…

- 調停参加者の間のオープンなコミュニケーションを促進します。
- 安全な環境を生み出します。
- 参加者に、敬意を払って他の視点を理解するよう促します。
- 意見が一致しない点を明確にし、オプションを見つける手助けができます。また、合意を書き留める支援をします。

## 調停についてよくある質問

### 誰が調停を要求できますか？

コミュニケーションが困難な場合、または解決できない紛争がある場合、保護者または学区スタッフが調停を要求できます。

### いつ調停を要求できますか？

調停は、いつでも要求できます。すでにデュープロセス・ヒアリングを要求している、または州不服申立書を提出している場合でも可能です。

### 誰が調停者を選びますか？

州教育機関（SEA）がランダムに、順番に、または他の中立の方法で調停者を選ぶ必要があります。一部のSEAでは、保護者と学校と一緒に調停者を選ぶことができます。学校または保護者が、独自に調停者を選ぶことはできません。

### 調停者は決定を行いますか？

いいえ。調停者はコミュニケーションを促進しますが、保護者または学区を支持することはありません。調停は、調停者によって誘導される問題解決プロセスです。

### 調停は、いつ、どこで実施されますか？

調停は、保護者と学区の両方に好都合な時間と場所で行う必要があります。

### 調停プロセスは、どれほど時間がかかりますか？

調停は、紛争の素早い解決に役立つためのものです。参加者が参加できるかどうか、紛争の複雑さ、合意に達することへの双方の関心度によって、費やされる時間は異なります。

### 誰が調停プロセスの費用を支払いますか？

IDEAは、SEAが調停プロセスの費用を支払うことを求めています。学区と保護者は、調停の費用を支払いません。

### 誰が調停に参加しますか？

調停を実施するには、保護者、学区のスタッフ、および調停者の出席が必要です。保護者と学校はサポート役など、他に誰が調停に参加できるかを決定します。多くの場合、調停者は調停セッションの前に、これを手伝います。

### 調停に生徒は出席すべきですか？

保護者はお子さんの年齢や成熟度に応じて、調停セッション

のすべてまたは一部にお子さんを出席させることができます。障害を持つ青年の場合、調停に参加することは自身で主張することを学ぶポジティブな経験になる場合があります。移行の問題が話し合われる場合は、特にそうです。

このトピックに関する詳細は、*The Involvement of Students in Their Special Education Mediations*（*特殊教育調停への生徒の関与*）をご覧ください。下記のCADREウェブサイトにあります。  
<https://bit.ly/2KFV002>

**IDEA紛争解決プロセスに関係する州規則は、大きく異なります。**

**詳細に関しては、保護者または家族が州教育機関または保護者センターにお問い合わせください。**

### **弁護士は調停に参加しますか？**

弁護士が調停プロセスに含まれるかどうかは、IDEAで規定されていません。特殊教育調停への弁護士の参加は、州によって異なります。

### **調停が機能しない場合は、どうなりますか？**

国のデータによると、調停の約70%で合意への署名に至っています。調停を利用しても、IDEAの下で提供される他の親権に影響はありません。保護者はその問題を解決するため、さらに州不服申立書を提出したり、デュープロセス・ヒアリングを要求することができます。

### **調停の合意は書面にすることが必要ですか？**

はい。紛争が調停プロセスを通じて解決された場合、合意は書面にすることが必要です。合意には、保護者および学区の権限を持つ代表者が署名する必要があります。調停合意は、調停プロセスの間に行われた、すべての話し合いが機密のままであることを規定する必要があります。調停合意に署名する前に、保護者は弁護士と相談できます。

## 合意が従われていない場合は、どうなりますか？

署名された調停合意書は、法的な拘束力があり、州裁判所または連邦裁判所で強制執行できます。合意が従われていないと思う場合は、SEAからあなたのオプションに関する情報を提供できます。

## 通訳が必要な場合、どうなりますか？

調停プロセスを理解し、調停プロセスに十分に参加できることが重要です。関係者全員に通訳が必要なことを知らせてください。詳細はSEAに問い合わせてください。

## 調停の準備をする方法

- 文書をまとめ、それらに日付や注を記入してください。コピーを3部作成することを検討してください。自分用、相手側用、調停者用です。
- 調停プロセスの間に話し合いたい問題や質問のリストを作ってください。これは、問題点をすべて思い出すのに役立ち、問題点をまとまった形で提示できます。
- 他の参加者が尋ねるであろう質問について考え、可能な回答を書き留めてください。
- 問題に対する様々な解決策を考え、それらを書き留めようとしてください。
- ミーティングの間に（あなたや他の人の）感情に対処する方法を考えてください。
- 参加に備える時間があるように、ミーティングの予定時刻の少し前に到着するようにしてください。
- 全員が互いに相手の発言に耳を傾け、敬意を払う場合に、調停は合意に達する可能性が高くなります。
- 保護者の代理人は、あなたの調停プロセスを支援できる場合があります。代理人と話すには、お近くの保護者センターにご連絡ください。

## 重要情報のソース

国内のすべての保護者センターの最新リストは、保護者のための情報とリソースのセンター (Center for Parent Information and Resources (CPIR))から入手できます。[parentcenterhub.org/find-your-center](http://parentcenterhub.org/find-your-center)または、(973) 642-8100にご連絡ください。



特殊教育における適切な紛争解決のためのセンター (Center for Appropriate Dispute Resolution in Special Education (CADRE)) は、紛争解決に関する全国技術支援センターです。[cadreworks.org](http://cadreworks.org) または、(541) 686-5060にご連絡ください。



個別障害者教育法 (Individuals with Disabilities Education Act (IDEA))に関する情報は下記のオンラインから利用できます。



<https://sites.ed.gov/idea/>

特殊教育紛争の解決およびIDEAの下で利用可能な紛争解決オプションについての詳細は、下記のCADREウェブサイトをご覧ください。

[cadreworks.org](http://cadreworks.org)

## お近くの保護者センターを見つけるには、下記までお問い合わせください

### Region 1 Parent TA Center

NJ Statewide Parent Advocacy Network  
35 Halsey St., 4th Floor  
Newark, NJ 07102  
Tel: (973) 642-8100 Fax: (973) 642-8080  
ウェブサイト: [spanadvocacy.org](http://spanadvocacy.org)

### Region 3 Parent TA Center

Parent to Parent of Georgia  
3070 Presidential Pkwy, Suite 130  
Atlanta, GA 30340  
Tel: (800) 229-2038 Fax: (770) 458-4091  
ウェブサイト: [p2pga.org](http://p2pga.org)

### Region 5 Parent TA Center

PEAK Parent Center  
611 N. Weber, Suite 200  
Colorado Springs, CO 80903  
Tel: (800) 284-0251 Fax: (719) 931-9452  
ウェブサイト: [region5ptac.org](http://region5ptac.org)

### Region 2 Parent TA Center

Exceptional Children's Assistance Center  
907 Barra Row, Suites 102/103  
Davidson, NC 28036  
Tel: (704) 892-1321 Fax: (704) 892-5028  
ウェブサイト: [ecac-parentcenter.org](http://ecac-parentcenter.org)

### Region 4 Parent TA Center

WI FACETS  
600 W. Virginia St., Ste.501  
Milwaukee, WI 53204  
Tel: (877) 374-0511 Fax:(414) 374-4655  
ウェブサイト: [wifacets.org](http://wifacets.org)

### Region 6 Parent TA Center

Matrix Parent Network & Resource Center  
94 Galli Drive, Suite C  
Novato, CA 94949  
Tel: (415) 884-3535 Fax: (415) 884-3555  
ウェブサイト: [matrixparents.org](http://matrixparents.org)

### Center for Parent Information and Resources (CPIR)

35 Halsey St., 4th Floor  
Newark, NJ 07102  
Tel: (973) 642-8100 Fax:(973) 642-8080  
ウェブサイト: [parentcenterhub.org](http://parentcenterhub.org)

## 最寄りの保護者センター

---

CADREは、米国教育省特殊教育プログラム局協力協定No. H326D080001の下で、この文書を作成しました。Tina Diamond博士が、プロジェクトオフィサーを務めました。ここに表明された見解は、必ずしも教育省の立場や方針を表しません。この刊行物で言及された製品、商品、サービス、または企業を米国教育省が正式に支持することを意図しておらず、そのように推論しないでください。この文書の内容は公有財産です。全体または一部を複製する権限が付与されています。この刊行物を転載する許可は必要ありませんが、CADRE (2014).IDEA Special Education Mediation, Eugene, Oregon, CADREを参照してください。この刊行物には、外部組織によって作成、維持され読者の便宜のため提供されているハイパーリンクおよびURLも含まれます。米国教育省は、この情報が正確であることに責任を負いません。この成果物の一部は、Technical Assistance ALLIANCE for Parent Centersで以前に作成されました。発行日:2014年1月